組合員数112,189人
支部数　883
読者数 67,425人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org

年金者しんぶん

第285号 2013年9月15日（日）（通巻第484号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　冨田　浩康　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

年金切り下げ中止を！

社会保障の大改悪許しません

行政不服審査請求運動と「仲間づくり月間」成功へ

政府の社会保障制度改革国民会議が8月5日発表した社会保障改悪案の報告書を受けて、安倍政権は全面的な社会保障の改悪・解体に着手しようとしています。

安倍内閣は8月21日、これら改悪案を実施する手順を定めた「プログラム法案」骨子を閣議決定し、秋の臨時国会に法案提出を予定しています。

年金者組合は「社会保障の全面的な改悪は許せない。年金削減中止と最低保障年金制度の実施をもとめて奮闘する」と中央本部の抗議声明を発表（別項）。安倍政権の暴走をストップするために、年金2・5%削減を許さない行政不服審査請求運動を全組合員の運動として推進しつつ、「仲間づくり月間」を必ず成功させようと「秋の大運動」に力を入れています。

（「月間の訴え」3面に）

秋の大運動

年金者一揆　全都道府県で

10月18日　東京・日比谷野音で中央集会

8回目となる年金者一揆は10月18日を中心に全都道府県と地域で計画されています。昨年に続き全労連との共催で行い、年金2・5%削減の中止を求める行政不服審査請求運動と「秋の仲間づくり月間」の成功をめざす総決起の場となります。

中央本部では、他団体への共同の申し入れを積極的に行い、「私は年金引き下げはみとめません」のワッペン作戦など人目を引くにぎやかな行動で成功させようとよびかけています。

また、年金者一揆にむけて「むしろ旗川柳」を募集中（9月25日締め切り）で、多数の応募を期待しています。（「むしろ旗川柳」と明記の上、ハガキまたはファックスか電子メールで中央本部まで）

中央行動は、首都圏各都県を中心に10月18日11時30分から東京・日比谷野外音楽堂で怒りの集会を開き、都内をデモ行進する計画です。被災地支援の物産販売も予定されています。

「年金下げるな」とアピールする年金者組合女性部（8月24日、千葉・幕張メッセで開かれた第59回日本母親大会の全体会で）

国民会議報告

消費税増税の一方で 医療・介護・年金の全面改悪へ

政府の社会保障制度改革国民会議の報告書は、消費税増税とともに医療、介護、年金、保育の全分野で改悪を求める内容です。主な内容を列挙すると…。

○介護保険では、要支援1と2を保険給付の対象から外し、一定以上の所得者の負担を引き上げる。要支援の介護事業を市町村任せに移行する方向を明記。

○医療保険では、70～74歳の窓口負担を1割から2割に早期引き上げ、入院時の給食の負担引き上げ、紹介状のない大病院の受診に定額負担の導入など。

○年金では、支給額を減らす「マクロ経済スライド」の毎年実施と課税強化、支給開始年齢の引き上げ検討など。

また同報告書は「国民へのメッセージ」を新たに盛り込み、消費税増税の必要性を強調しています。

（関連記事5面）

●本号から隔月増頁（10頁建て）になります。

紙面充実のいっかんとして、今月号から隔月10頁に増やし、年金にかかわる運動、女性の会活動などの記事をより充実させていきます。いっそうのご愛読よろしくお願いします。

編集委員会

国民会議の報告書に対する

抗議声明（大要）

年金・医療・介護・保育の全分野にわたる全面改悪を打ち出しており、私たちは絶対に認めることはできません。

年金問題では、①受給開始年齢の引き上げを中長期課題として検討する②『マクロ経済スライド』をデフレ下でも実施できるように見直す③『高所得者』への支給額を削減し、年金課税を強化する等を提案しています。

2・5%の年金の削減のあとには、悪名高い『マクロ経済スライド』がすでに決まっており、さらに、デフレ下での適用は、年金を毎年下げることと同じです。『高所得者』への支給額削減、年金課税の強化は、なし崩し的に年金減額や課税強化が行われる危険性があります。

厚生労働省の調査でも、年金受給者のうち48%は年額100万円以下です。まず、無年金者・低年金者の所得の増加をはかり、急いで最低保障年金制度を確立すべきであり、年金者組合は、その実現に全力をあげて奮闘する決意です。

8月5日　全日本年金者組合

風雪

これからの本当のべんきょうはねぇ・テニスをしながら商売の先生から・義理で教わることでないんだ・きみのようにさ・吹雪やわづかの仕事のひまで・泣きながら・からだに刻んで行く勉強が・まもなくぐんぐん強い芽を噴いて（後略）

●宮沢賢治作「稲作挿話」からである。池上洋通氏著「人間の顔をしたまちをどうつくるか」（98年）にも三上満氏著「野の教育者・宮沢賢治」（05年）にも引用されている●暑くて苦しかったが都議選と参院選結果から新しく学んだことは多い。予想を超えた結果にあらためて「日本国民が苦難の中で闘ってきた戦後68年の力の蓄積の大きさの確認」もその一つである●人はどんなに忙しくても、夜中まで仕事させられても、身体で学んでいるものである●そこに本当に自由と民主主義を指し示すものが現れたら、深い雪の中で「準備をしている小さな小さな草たちが」芽を噴きだすのである。（茶）

年金の毎月支給は切実

年金制度で厚労省交渉

要望書を提出する冨田委員長（左）

全日本年金者組合は8月21日、厚生労働省に対して、年金引き下げ中止、最低保障年金制度の実現などの基本要求とともに、2カ月ごとの年金支給を毎月支給になど公的年金制度にかかわる当面の改善要求19項目について要望書を提出し、約1時間半交渉をおこないました。交渉には冨田浩康委員長、田中諭書記長ら中央本部役員と首都圏都県本部の代表ら15人が参加しました。

冒頭、冨田委員長が、「国連からの再三にわたる勧告にもかかわらず日本の社会保障はさまざまな問題をかかえている。今日は私たちの要望とともに、ぜひ年金生活者の暮らしの実態をしっかり受け止め、今後の行政に生かしてほしい」と要望しました。

交渉の中で年金者組合は、「物価が上がっているもとで年金引き下げは許せない。10数年前の年金据え置きの時期よりも高齢者の生活は困難になっている」「国連勧告は最低保障年金制度の実施を強く求めており、ぜひとも実現を」「年金の毎月支給は切実。役人のみなさんも給料は毎月支給でしょう」など指摘。

しかし厚労省側は、年金引き下げは払い過ぎを是正するもの、国連勧告は外務省の管轄で厚労省には判断材料がない、年金の毎月支給には計算システムの開発等で多額の公費と時間がかかるので慎重な検討が必要、など切実な要求に応えない態度に終始。

これに対し参加者からは怒りとともに、高齢者の苦しい生活実態や要求実現を求める発言が相次ぎました。

（要求項目は4面）

針路

もうだまってはいられない
今「声」をあげ行動するとき

「すべての人が安心して暮らし、豊かさを実感できる社会をつくる」この観点から社会保障制度改革国民会議が設置されました。しかし最終報告は、社会保障に対する国の責任を棚上げして自己責任を求めるもので、豊かさなど実感できる内容は一つもありません。医療・介護・年金、どれをとっても高齢者の負担増で生活はますます苦しく豊かさなど程遠い。このまま黙って実施することなど許さなります。

年金2・5%引き下げ、デフレ下でも削減するマクロ経済スライドと際限のない年金削減に、年金者組合が経験したことのない全組合員による「怒り」の不服審査請求と「仲間ふやし月間」を結合した大運動を取り組みます。

10・18「年金者一揆」は多くの団体に呼びかけて、これまでより一回り大きな行動として取り組むことです。

これらの運動過程で不服審査請求入を組織する、同時に秋の「仲間づくり月間」を全国一斉に好スタートしようではありませんか。

議会要請も、増税、原発、憲法、平和問題と大変な秋闘ですが、組合員一人ひとりが県・支部に団結して、高齢者2980万人の皆さんが生きる希望を持てるよう、光がやく年金者組合運動を楽しく進めようではありませんか。

大阪・堺市で大政治戦
"維新の会"の暴政ストップ！

知り合いの堺市内在住者に、竹山市政継続支援の呼びかけをお願いします！

大阪・堺市では、民主主義を守り、住民本位の市政を貫いてきた竹山市政に対して、堺市を解体して"大阪都"に吸収するという橋下・大阪維新の会が、一段と攻撃を強めています。

堺東駅前での街頭宣伝行動

橋下・維新の会の本質は、憲法と民主主義否定の独裁政治であり、自治体本来の住民のいのちと暮らしをまもる役割を投げ捨て、なんでも民営化、黒字の地下鉄も私鉄大資本への投げ売りを画策するなど、財界の利益に奉仕の政治です。

この住民サービス犠牲と民主主義破壊の市政では"まちづくり"も進まないと、年金者組合堺南、北両支部をはじめ大阪府本部全体で、維新の横暴を許さない！と奮闘中です。

橋下氏の「従軍慰安婦」暴言、あまりの反人権、反民主主義ぶりに先の都議会選挙、参議院選挙で大きく後退した「維新の会」が再び息を吹き返すことを許すのか否か、この堺市での政治戦は重大な意義を帯びています。

全国のみなさまのご支援をお願い申し上げます。

（大阪府本部・加納忠）

ナチス発言の麻生は許せない
副総理

古谷委員長

麻生副総理のナチス発言は、世界に衝撃を与え、大きな波紋をよんでいます。ナチスによる犯罪について、80歳を越えて今なお、東京大空襲と、ナチス・ドイツの手になる絶滅センターとして世界に知られるアウシュビッツについての研究と平和運動を続けておられる作家の早乙女勝元さんに、1980年代に私が今も住んでいる福岡県行橋市立行橋小学校体育館で出会ったことを、あらためてかみしめています。

私は当時、教職員組合の教育文化部長として、「教え子を再び戦場に送らない」というスローガンを掲げて、戦後の日本の教育の民主的改革を展望しながら、日々の充実した実践に自らの「生きがい」を見出すための努力をしていました。その一つが、真理と平和を希求する人間の育成をめざす地域ぐるみの教育講演会の開催でした。

1980年の夏休みだったと思います。遠い東京から、若々しい早乙女勝元さんにきていただきました。500人近くの父母教師が集まりました。東京空襲の話とナチス・ドイツ、そしてアウシュビッツを結びつけてのお話に、参加者一同、静まりかえり、聞き漏らすまいと一生懸命の姿も見られました。その日、早乙女勝元さんからいただいた『アウシュビッツ』（草土文化）は今でも座右の書として読み続けています。

麻生発言の次の日、地元の年金者組合、嘉飯支部の組合員の一人から「彼はかつて"韓国人の強制労働"をやった一族の責任について『歴史的判断にまかせる』といったけど、彼にはもともと歴史から学ぶ力を持ち合わせていない。首相の安倍さんと同じだ。二人とも国政に参加する資格のない人だと思う」と電話をいただいた。

福岡県本部執行委員長　古谷　信一

来年500人 再来年は700人へ

徳島25回定期大会開く

徳島県本部の第25回定期大会が8月1日、徳島市中央公民館で開かれ、代議員、県本部役員など52人が出席しました。

"異議アリ"全国と呼応 活発だった質疑・討論

大会は、2・5％年金削減阻止、最低保障年金制度の実現、社会保障制度の改悪を許さない運動を強め、年金削減が実施された場合には、「異議アリ」の声を広く訴え、全国の仲間と呼応して、行政不服審査請求に取り組むことや、次期県本部大会までに500人の組織へ、2015年の第22回全国大会までに700人の組織に到達させるなどの運動方針を決めました。

質疑・討論では、支部から10人が発言、楽しみ重視の支部活動や仲間づくりの経験が報告され、大会宣言を採択しました。

徳島県本部の第25回定期大会（8月1日県本部機関紙から）

秋の月間、飛躍の準備を 審査請求運動と結合して

中央本部 三上利栄

2つの運動ポイント

第1は、年金切り下げの運動を宣伝、署名、意見書採択、共同行動などを強化することです。

政府が年金切り下げを強行するときは不服審査請求運動を怒りをもって決行します。支部役員を先頭に支部会議などのたびに相談して意思統一をしましょう。第2は、仲間づくり月間10月1日より12月11日、30中委まで実施されます。目標を9月20日までに決めて、仲間づくり月間を序盤より好ダッシュします。とくに、総合計画の展望に立った時、今度の月間では何としても飛躍をかちとることが大事です。飛躍とは、全支部が目標を決め、成果を上げ、みんなが力を合わせ持分で拡大行動に参加することです。

大事な点は、支部を結成することです。支部結成は総合計画を達成する点から見て鍵となります。神奈川県本部は4支部増になる取り組みをしています。

「2つの運動」を首尾よく成功させるために都道府県本部、支部で月間推進体制確立と推進ニュースを発行しましょう。中央に団結して、よく準備してたたかうものが勝利者となることができます。

2万人と全自治体に支部を 活気づく東京都本部大会

東京都本部の第25回定期大会が7月31日、豊島区立勤労福祉会館で開かれ、代議員136人が出席。金子民夫委員長から「選挙結果を受けた夏から秋の展望」について情勢の追加報告があり、来賓の中央本部田島茂副委員長、東京地評伊藤潤一議長、日本共産党都議団米倉春菜議員が挨拶しました＝写真左。

大会は、年金2・5％削減など社会保障解体を許さない大運動、2万人組合と全市区町村に支部結成をめざす総合6カ年計画の推進などの運動方針案について質疑・討議。年金削減中止の意見書を全会一致採択させた東村山支部、年金の毎月支給と支部の分離・独立に取り組む武蔵野三鷹支部などから活発な発言が相次ぎました。

ステップワンは2分割2支部 三神支部次は4分割

佐賀

佐賀・三神支部（組合員177人）はこれまで4自治体を1つの支部として活動してきましたが、6月15日の臨時総会で、参加者全員の賛成で、三養基支部（三養基郡みやき町と同峰町）と、神埼支部（神埼市と神埼郡吉野ヶ里村）の2つに分割することを決めました。組合員数はほぼ半数ずつです。

市川万平支部長は「年金者組合のいっそうの前進のためには1自治体1支部が必要だが、今回の支部分割はそのための通過のひとつ」と強調しました。

総会終了後、全員でなごやかに昼食。また支部お得意のフラダンスが華やかに演じられました。

（佐賀県本部機関紙から）

三神支部の二分割を決めた臨時総会

支部&サークル

――山形・山形支部――

「詩吟っていいね」 大声でストレス解消

「詩吟っていいね」「やってみたいね」ということで2010年1月、6人でサークル「すみれ会」が発足しました＝写真。

先生は年金者組合員。生協のサークルうたう会や、ヨガの会の人達も誘い、年金者組合にも加入してもらいました。

山形市は公民館を無料で使用できるので霞城公民館で月2回練習に励んでいます。慣れない声の出し方に戸惑っていたものの、武田橙岳先生の励ましと適切なご指導で、今では思いっきり大きな声をだしストレス解消になっています。公民館の文化祭には1年目から出て、今年も10月の発表会に向け、サミュエルウルマンの「青春」と「望郷の歌」（かあさんの歌）の2曲を練習中です。会員11人は全員女性。男性募集中です。

（細川 房子）

2013年 都道府県新3役 〈第1次〉

▼福島県本部○委員長・山口文彦○副委員長・大沢宗男、治田孝三、杉本邦明、増子善七、松崎 忠、渡辺邦恵○書記長・佐藤征司

▼富山県本部○委員長・米谷寛治○副委員長・本木英子、森澤利之、山本信一○書記長・大塚修治

▼埼玉県本部○委員長・斎藤 健○副委員長・生澤壮介、河村勝子、佐々木 長、福地 博

▼京都府本部○委員長・山崎 彰○副委員長・長田 豊、小島淳子、小林長俊、森脇芳雄、中松 清○書記長・吉田 靖

▼大阪府本部○委員長・永井守彦○副委員長・中矢道一、橋本広子、松井幹治、村崎秀子、米田健治○会計長・鎌田 修○書記長・加納 忠

▼兵庫県本部○委員長・岡本毅一○副委員長・勝 巧雄、瀬戸野和子、福原富雄、和田邦男○書記長・関根敏克

▼奈良県本部○委員長・藤垣全弘○副委員長・桑内美智雄、西本信一○書記長・清水恭太郎

▼鳥取県本部○委員長・増田修治○副委員長・山本昭義○書記長・前田卓也

▼岡山県本部○委員長・東 都支男○副委員長・近藤 勁、田中輝子○書記長・田中 博

▼長崎県本部○委員長・宮地 昭○副委員長・岸川 浚、鬼塚俊治、樋口晃子、濱岸利昭、○書記長・平尾周二

春喜○書記長・曽根啓維

▼愛知県本部○委員長・伊藤良孝、○副委員長・荒川利貞夫、小室 勲、杉村実紀、茶谷寛信、西岡久男、峰野康子○書記長・梅北政義

▼三重県本部○委員長・辻井良和○副委員長・森田一善、福森瑞子○書記長・西村 晃

▼滋賀県本部○委員長・谷悦男○副委員長・石坂昭典、佐々木伸次○書記長・徳永

11.2 福島県民大集会参加と福島市&原発20キロ圏内見学・交流3日間
◆11月2日（土）～4日（月祝）
◆42,000円（福島発着）
◆定員44（最少25）◆締切10/4（金）

挺対協人権チーム長 梁路子（ヤンノジャ）さん案内
ハルモニと出会い、「慰安婦」問題解決を考える
歴史と平和・友好のソウル4日間
◆11月17日（日）～20日（水）
◆123,000円（燃油等別途）
◆定員30（最少20）◆締切10/17（木）

被災地支援・連帯ツアー
女性・子どもの目線で訪ねる三陸のいま
宮城・岩手
◆11月2日（土）～4日（月祝）
◆38,000円（仙台集合、盛岡解散）
◆定員40（最少20）◆締切10/4（金）

寒い日本を抜け出し、初夏に訪ねる
南半球の楽園
癒しの国・ニュージーランド8日間
◆12月3日（火）～10日（火）
◆428,000円（燃油等別途）
◆定員15（最少10）◆締切9/25（水）

※いずれも添乗員同行。海外は燃油など別途

［お問合せ・申込先］東京都知事登録旅行業第3-6101号 (株)たびせん・つなぐ
TEL：03-5577-6300／FAX：03-5577-6310 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1-302
［メール］info@tabisen-tsunagu.com ［WEB］http://tabisen-tsunagu.com
［企画実施］株式会社 TABI'Z 観光庁長官登録旅行業第1-1906号 東京都港区芝5丁目13-18 MTCビル9階

原水爆禁止2013年世界大会・長崎

「ようこそ 年金者のつどい」開く

目立った〝脱原発〟運動強化の発言

広島・長崎への原爆投下から68年目となる今年、原水爆禁止2013年世界大会・長崎が8月7～9日に開催され、7000人が参加しました。大会は「核兵器のない世界の実現」という被爆者の願いを受け継ぎ、20カ月後に迫った次回NPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて、新アピール署名の取り組みをはじめ、核兵器廃絶を求める国内外の圧倒的な世論をつくりだすことを誓い合いました。

あいさつをする冨田委員長

全日本年金者組合は8日、大会会場となった長崎市民会館の展示ホールで「ようこそ年金者のつどい―長崎2013」を開催。世界大会実行委員会の配慮により階層別集会の一つとなった「つどい」は今回で4回目、長崎では2回目の開催です。20都道府県から過去最多の48人が参加しました。

はじめに、中央本部の冨田浩康委員長、長崎県本部の宮地昭委員長の両氏が主催者を代表してあいさつ、つづいて2人のゲストから「お話」を聴きました。1人目は、元全労連常任幹事で現在は日本宗平協役員の浄土真宗大谷派安養寺（大分県宇佐市）の住職・林正道さんで、「労働運動から僧侶へ―変わらぬ核兵器廃絶と平和への願い」と題して、2人目は、元全動労組合員で現在は年金者組合長崎支部の田中重光さんが「長崎での被爆体験」を語りました。

討論では12人が発言。「今年も平和行進の各所で〝折り鶴〟を組織した。10万のうち8万が年金者組合の分だった」（愛知）、「通し行進に挑戦し、すばらしい経験をした。皆さんもぜひ参加を」（山口）、「原発事故の被害はますます深刻だ」（福島）、「福島から避難してきたが、ここも隣は原発が13基もある福井県だ」（滋賀）、など、「脱原発」の運動強化への発言が目立ちました。

つどいは最後に、「年金削減を許さず、社会保障の改悪阻止」のたたかい、秋の仲間づくりの取り組みとともに、「憲法・平和的生存権をまもる」運動を全員で確認し、「長崎の鐘」の合唱で締めくくりました。

▼訂正＝前号（284号）4面の「許されない！受給中の共済年金削減」の記事中、恩給期間の記述を次の通り訂正します。

「国家公務員：昭和34年10月前までの期間」「地方公務員：昭和37年12月前までの期間」。

年金制度

当面の改善要求

厚労省に要請文提出

高齢者の貧困は深刻さを増しています。10月からの年金引き下げや来年4月からの消費税増税が実施されれば、さらに大きな打撃となり、特に単身高齢女性は生存権さえ脅かされかねません。年金者組合が、長年求めてきた「最低保障年金制度」の必要が増しています。

また、現行年金制度のもとにおいても、改善すべき点は随所に見られます。それを19点にまとめ、下記の要請をします。

記

1．年金引き下げを取りやめ、「最低保障年金制度」を早急に実現すること。

2．「公的年金制度にかかわる当面の改善要求」（要求内容下欄）を実現すること。

全日本年金者組合
中央執行委員長
冨田　浩康

公的年金制度にかかわる当面の改善要求

1．基礎年金の国庫負担分を満額受け取っていない無年金・低年金者に、約3.3万円に満たない額を支給すること。
2．年金受給期間の10年への短縮は、消費税増税にかかわりなくただちに実施すること。
3．2カ月ごとの年金支給を毎月支給にすること。
4．1号被保険者の届出漏れで生じた「3号不整合」問題解決にあたっては、公平性をはかりながらも主婦の低年金に配慮すること。とりわけすでに受給している人には特に配慮すること。新たな届け漏れを出さないようにすること。
5．年金制度の申請主義を改め、受給漏れをなくすこと。
6．裁定請求が遅れた場合であっても無条件にさかのぼって裁定すること。
7．脱退手当金の返還を可能にし、その期間を受給額に反映すること。
8．厚生年金を含む社会保険適用事業所の適用漏れをなくすこと。
9．パート・派遣など、すべての被雇用労働者に厚生年金を含む社会保険の適用を拡大すること。
10．国民年金保険料追納については、実施中の「後納制度」を延長し、後納可能期間を延ばし、年齢制限をなくすこと。
11．保険料納付義務や免除については、本人の所得のみを基準にすること。
12．障害年金については、すべての障害者が無条件で受給できる制度にすること。
13．低所得単身高齢者の年金に加給金を加算すること。
14．年金からの医療・介護保険料と住民税の天引きを止めること。
15．高齢者の生活実態とかけ離れた「消費者物価指数」による年金引き下げを止め、実態に合わせて年金を引き上げること。
16．年金水準を引き下げる「マクロ経済スライド」を廃止すること。
17．標準報酬月額の上限を見直し、再分配機能を強化すること。
18．「消えた年金」については、最後の一人まで解明すること。大量の未解明を残したままの決着は認められない。
19．旧社会保険庁職員525人の分限免職を取り消し、年金業務の機能を回復すること。年金業務の営利企業への丸投げを取りやめること。

札幌北支部

「年金下げないで」

ゼッケンつけて宣伝・署名

8月15日は、終戦記念日で、年金支給日でもありました。札幌北支部では恒例の宣伝・署名行動を麻生ダイエー前で行いました。

私は「年金下げないで」とアップリケをしたゼッケンを3枚作って、女性部の2人にも付けてもらい、一緒にビラを配りました。「年金下がるの？　いつから」と聞いてくる人もいて、さっそく署名をしてもらいました。

次回は、もう少し多く作って参加したいと思っています。

（岩渕敏江）

年金者何でも相談

Q 国民年金保険料を10年さかのぼって納付できるのですか。

A 原則は、未納分は2年だけさかのぼって納付できますが、現在は特例として10年さかのぼって納付できる「後納制度」が2015年9月まで実施されています。1700万人の対象者のうち約80万人が申し出ています。この制度は、「お金がなくて制度を利用できない」という声が多く、国や自治体などの貸付制度の整備が望まれます。

原則2年と特例10年については、延ばす案が浮上しています。納付期間の延長は、国民年金保険料が上がり続け保険料が高額となり、払えない人々が増える実態のなかで一定の救済策としてでてきました。納付できる期間の延長と並行して、国や自治体による貸付制度の充実を急いで欲しいところです。国民年金保険料は現在は定額制ですが、定額ではなく支払い能力に応じた保険料の検討などの声も以前からあります。

Q 3号期間についての年金減額が心配です。

A 3号期間については届出に誤りが多く、国も責任を一部認めた形で決着しました。そのまま見直しをすると年金を受けられなくなったり、大幅に減額になったりするケースがでてきますので、①失権にはしない②減額は10％を限度とする③申し出れば、10年以内はさかのぼって追納できる…等です。以前からこの処理をめぐり議論されてきましたが、年金事務所から該当者には通知書が送られますが、年金事務所に行って自分の場合について直接説明を聞くこともできます。

2013年9月5日
（年金相談室　阿久津嘉子）

年金相談＝毎週火・木の11時～16時
まで☎03・5978・2751

◇年金問題のページ◇

世論の力でストップ！ 年金引き下げ

年金2・5%の引き下げは、際限のない年金引き下げに道を開く重大な攻撃です。行政不服審査請求運動に全組合員の参加をめざして成功させ、年金引き下げの流れを変えさせましょう。

行政不服審査請求運動を圧倒的な数で成功させましょう

年金引き下げは許せません。3年間で2・5%の引き下げを行い、そのあとは、マクロ経済スライドによる本格的な引き下げを毎年実施しようとしています。社会保障の財源を減らすために、年金が一貫して認められません

どう考えても不当な年金引き下げ

これ以上の年金引き下げは憲法25条、国連勧告に違反します

「買い物は食べるものだけ」「働けなくなったらと思うと目の前が真っ暗」「年金5万円。これ以上減っては食べていけない」など、高齢者が悲鳴をあげています。

これ以上の年金引き下げは、生存権を保障する憲法、無年金・低年金の改善と最低保障年金の確立を求める国連勧告に違反します。

年金者組合試算：2013年10月1%減　14年4月1%減
15年4月0.5%減　16年以降マクロスライドで1%減

不当な引き下げの理由

10年あまりも昔の消費者物価指数の下落が反映されていないという理由で年金が下げられます。これは「物価が上昇する状況のもとで解消」するとしていた政府の考えにも矛盾します。

とんでもない！物価上昇のなかでの年金引き下げ

アベノミクスによる円安で、食料・光熱費などが恐ろしいいきおいで上がっています。こんななかでの年金引き下げは、とんでもないことです。

不当なのは低年金を含めての一律引き下げ

今でも暮らしていけない低年金者を含めての年金引き下げは不当です。いま、基礎年金のみの受給者は819万人、厚生年金をあわせても月10万円以下の人は1300万人近くもいます。1人暮らしの高齢者も多く、子どもにも頼れず、追いつめられています。

高齢者のくらしを反映していない消費者物価指数

物価指数で年金が下げられていますが、物価指数が下がる主な原因は、テレビ・パソコン、冷蔵庫・エアコンなどの下落によるものです。健康保険料、介護保険料の引き上げはまったく考慮されていません。医療費が高齢者には重い比重であることも考慮されていません。

誰でもできる不服審査請求

声をかけあって請求する人を増やしましょう

行政不服審査請求は法律に基づく国民の権利です。年金関係の具体的な手続きは「社会保険審査官及び社会保険審査法」が定めています。

年金額改定通知書のコピーは添付する必要がありません。年金者組合が作成した請求用紙に、住所・氏名・年金番号などを記入すればよいことになっています。簡単な手続きでだれでも不服審査の請求ができます。

年金を守れば若者も安心

雇用と賃金の改善が年金を守る

共同をよびかけ、運動をひろげましょう。

政策調査部

社会保障制度改革国民会議報告書について

社会保障制度改革国民会議は8月6日、報告書を政府に提出しました。これを受けて政府は、8月21日までに「制度改革」の手順を定めた「プログラム法案」の骨子を閣議決定し、秋の臨時国会に法案を提出します。

厚生労働省は、秋から社会保障審議会などで「制度改革」の具体案を検討し、来年の通常国会で順次法案化をはかるものと見られます。

「報告書」は、第1部「社会保障制度改革の全体像」（「総論」）と第2部「社会保障4分野の改革」という各論からなっています。

第1部「社会保障制度改革の全体像」

「総論」は、「社会保障制度改革推進法」（以下「推進法」という）の考え方をなぞりながら、「持続可能な社会保障の構築には徹底した給付の重点化・効率化が求められる」とし、「世代間だけでなく世代内の公平」をいい、『年齢別』から『負担能力別』に負担のあり方を切り替え、「資産を含め負担能力に応じて負担する仕組み」を述べ、徹底した給付削減と負担増を示唆しています。

持続可能な社会保障のために徹底した給付の削減が必要だという発想は、財源の範囲で給付をまかなうという考え方です。それは、社会保障「破壊法」ともいうべき「推進法」の理念に沿うものです。しかし、生存権にかかわる社会保障の財源は、すべてに優先して確保すべきものです。

負担は、『年齢別』になっているのでしょうか、年齢や年金受給者としてのハンディに一定の配慮をするのは当然です。負担能力に合わせて応分の負担をするのは、年齢には無関係のはずです。しかし、「資産を含めた」負担能力には大きな問題があります。

財源では、消費税増税の発想しかなく、求められている大企業や高裕層への応分の負担を求める応能負担や、大型公共事業の削減・先送り、軍事費の削減などの発想はまったくありません。また、「報告書」は、『給付は高齢世代中心、負担は現役世代』という構造を見直す」とし、「全世代型の社会保障への転換」を述べています。

しかし、これは、社会保障給付を抑制する政治が続いてきた結果であり、高齢世代が特別に優遇されてきたものではありません。

「報告書」は、「改革」を短期と中長期に分けて実現するとしています。短期は、「消費税増収が段階的に生じる期間内に集中的に実施すべき改革」で、『中長期は2025年を念頭に段階的に実施すべき課題』としています。

以下、「各論」の主な改悪を紹介します。

第2部「社会保障4分野の改革」

〈医療保険〉

70～74歳の窓口負担を1割から2割に引き上げ

70～74歳の窓口負担は、2006年の改悪で2割負担にされました。しかし、行政不服審査請求運動など後期高齢者医療制度反対運動の盛り上がりのなかで、自公政権が1割のまま凍結し民主党政権も踏襲してきたものです。

特例措置を延長せず70歳到達者から2割に引き上げることが「短期の改革」として提案されています。2014年度から実施の危険もあります。

高額療養費制度の高所得者の負担上限引き上げ

「高額療養費制度」は、高い医療費がかかった場合、患者の支払額に上限を設ける仕組みですが、70歳未満について「低所得者」、「一般」、「高所得者」の3段階になっています。

「低所得者」の一部の上限を下げ、「高所得者」の一部の上限を上げる。「一般」は、一部を上げ他を下げる。つまり3段階を6段階にするという「改革」が「短期の改革」として提案されています。

閣議決定した改悪のスケジュール

介護	要支援者の保険外しなど	2014年法案提出、2015年から実施
医療	70～74歳の患者負担増	2014年から実施（法改悪済み）
	病床抑制システム	2014年法案提出、2017年までに順次実施
	国保広域化や患者負担増	2015年法案提出、2017年までに順次実施
年金	支給額削減や課税強化	期限を決めずに必要に応じて実施

国民健康保険の運営を市町村から都道府県に移す

17年度末までに国保の運営を都道府県に移すとしています。

国保の赤字体質は、構造的なもので都道府県に移しても解決するものではありません。現在行なわれている自治体財政からの赤字補填を止めさせることが狙いであり、医療費の増大が保険料引き上げに直結することになります。

これらの他、入院時の給食の患者負担を引き上げる、紹介状なく大病院を受診する患者の定額負担制度を検討（「フリーアクセス」の制限）、病院や施設から在宅への移動を推進、などを述べています。

〈介護〉

「要支援」向けサービスを介護保険から市町村事業に移す

市町村が受け皿になってNPOやボランティアも活用してコストを抑えることを想定、2015年度から段階的に移行させるとしています。

地方の財政も厳しく安上がりの受け皿がどこにもあるとは考えられず、サービス低下は避けられません。とんでもない改悪です。

所得が一定以上の利用者の自己負担を引き上げる

現在、利用者の自己負担は1割ですが、これを医療保険のように一定の所得のある人について引き上げようというものです。これまた制度根幹を変える大改悪です。これも短期の「改革」提案ですが、具体化はこれからです。

低所得者への食費・部屋代補助の要件見直し

低所得者の要件を見直して補助を削減しようというものです。これも短期の「改革」提案で具体化はこれからです。財産も考慮することを提言していますので、収入が少なくても自宅など一定の不動産があれば補助の対象からはずされることになりかねません。

〈年金〉

「マクロ経済スライド」のデフレ下での実施検討

2004年「年金改革」でつくられた「マクロ経済スライド」は、2・5%の特例水準が解消するまでは機能できません。その上、賃金・物価低迷の下では発動しない仕組みです。そのためこれまで一度も適用されたことがありません。

その仕組みを賃金・物価が下がってもかまわず適用して年金額そのものを引き下げようというのがこの提案です。中長期の「改革」ときされていますが決して油断できません。

高所得者の給付減額、年金課税強化を検討

昨年8月に成立した「年金機能強化法」の原案には「高所得者の給付減額」が含まれていました。しかし、3党協議の中で削除修正されています。

特に警戒すべきは、「高所得者の給付減額」に替わるものとして考えられている「年金課税強化」です。公的年金等控除や遺族年金の非課税措置の縮小を述べています。2005年の年金課税強化では公的年金等控除が縮小されて65歳以上の最低保障が140万円から120万円に減額されました。さらなる課税強化を許してはなりません。

支給開始年齢引き上げを検討

現在、支給開始年齢は引き上げの途中です。2025年（厚生年金女性は30年）には65歳になります。

これを68歳とか70歳への引き上げを検討課題としています。現在でも退職から年金支給までの間の所得保障が大きな問題です。所得保障のないままさらに年齢を引き上げるなど論外です。

第59回日本母親大会in東京

憲法を生かし、いのち・くらし・平和を守ります

「女性も自立できる年金を」
年金者組合がアピール

分科会で、年金について解説する長谷川さんと聞き入る参加者たち

第59回日本母親大会が、8月24、25日に東京で開かれ、1日目の全体会会場、幕張メッセ・イベントホールは7500人余りで埋め尽くされました。

伊藤塾塾長・弁護士の伊藤真さんによる記念講演は『憲法のいきづく国に―私たちに求められるものは』の題。「憲法と法律との違い、大切さ」「安倍首相の、自衛隊を国防軍と言い換えるだけ、は嘘」「現憲法は個人の基本的人権を保障しているが、自民党改憲案ではそれは失われ、個性を持たず代替が可能な〝人〟としてのみ扱われる」「日本国憲法は世界平和を求めていて画期的」などが熱く語られました。

伊藤真さん

最後の「これを知った人には、周囲や次世代に知らせる義務が生じる。さあ、皆さんも大変ですよ」の言葉に、会場は笑いと盛大な拍手に包まれました。

後半の「今日の運動」には年金者組合の女性たちも登壇。女性も自立できる年金を、年金引き下げの流れを変えよう、と訴えました。

森口副委員長が分科会で国連訪問の成果を紹介

2日目の分科会、「現在も将来も安心できる年金のために」は若い層を含めた60人が参加。長谷川陽子さん（社会保険労務士）が助言、森口藤子さん（年金者組合副委員長）と田川澄子さん（福岡県）が司会を担当しました。

「息子が非正規雇用で国民年金保険料を払えないでいたら、いきなり親に資産差し押さえの通知がきた」「夫を見送って一人の年金になったら少なくて、娘の援助を受けざるを得ない。自立できず情けない」「若い世代には自分で積み立てたほうがいいと言う人がいるが、これに参加して年金制度を守っていきたいと思った」など、様々な質問や意見が出ました。

森口さんからは、今年4月に年金者組合で行った国連・社会権規約委員会訪問が紹介されました。温かく迎えられNGOとして説明し質問に答えたこと、5月に出された日本政府への見解と勧告は「日本の年金制度は非常に不十分である。特に高齢女性が問題。政府は生活保護受給をためらわせる恥辱感を根絶するように国民を教育しなければならない」などと是正を迫っていると伝えると、拍手がわきました。

★分科会のまとめ

①現在も将来も安心できる年金の為に、若者と高齢者は手をつなぎ、最低保障年金制度をつくろう。②年金引き下げをやめ、マクロ経済スライドを廃止させよう。全国で行政不服審査に立ち上がろう。③払った保険料は必ず年金、給付金に反映させよう。④国民年金の保険料滞納による差し押さえはやめさせよう。⑤年金について学習を広げ、若い人に知らせていこう。⑥国民年金の保険料免除制度は、国保のように法定減免制度にして年金減額をさせないようにしよう。

母親大会アピール

全国のお母さん
女性のみなさん

第59回日本母親大会は、国民のくらしや国のゆくえに深くかかわる課題が山積みしているなかでの開催となりました。昨年末の衆議院選挙につづき、7月の参議院選挙でも、自民党・公明党が多数を獲得しました。両院で多数を獲得したことで安倍政権は、消費税増税ほか、いのちとくらしにかかわる重要な課題を数の力で推し進めようとしています。

いま、全国各地で大きく広がる「消費税反対」「大震災からの復興を」「生活保護の切り下げを許さず、格差と貧困のない社会を」「TPP参加は許さない」「基地のない沖縄・日本を」の運動と連携して、憲法を守り生かすとりくみを草の根からさらに大きく広げていきましょう。

世界の母親・女性が手をつなぎ、「核戦争から子どもを守りましょう」とはじまった母親大会から59年、私たちは、毎年「日本母親大会」を開き、世界に類のない母親運動をあゆみつづけてきました。このあゆみを確信に、母親・女性たちの切実な願いをかかげ、激動の情勢にしっかりとむきあい、連帯をいっそう強め、子どもたちに明るい未来を手渡すために、ともに力をあわせてまいりましょう。

（概略）

女性の会（部）のページ

低年金の女性だからこそ、この運動で未来を拓きたい

愛知県本部では、中央大会で確認した「年金2・5%削減」を不服とした「行政不服審査請求運動」を成功させるための学習会を支部やブロックで広めます。10月18日の年金者一揆までの目標数を提示して「行政不服審査請求」を集約し、全国と呼応した一揆の成功を目指します。

愛知県本部　女性部

行政不服審査請求運動
「経験」を糧に学習で未来拓く

愛知年金者組合は毎年「後期高齢者医療制度不服審査請求」の取り組みで中心的役割を担ってきました。

こうした粘り強い取り組みを通じて、「組合員社会です。昨年女性部が愛知県でまとめた「高齢女性実態調査」では、1900人が「ひとり暮らし」になったら生きていけない現実と不安、精神的苦悩を赤裸々に書いています。こうした女性たちの声にどう応えるのか、どう活かすのかと考え、アンケートのまとめ「愛知版」を自治体交渉や団体などで高齢女性の実態を訴えてきました。

愛知県女性部は「年金2・5%削減」に怒り、「不服審査請求」運動の意義を役員と委員全員で学習しようと、8月7日の委員会に提案。次回10月9日、委員会の会食後に茶谷寛信中央副委員長を講師に「なぜ、今なのか」を学び、経験やとりくみ方を交流します。

組合員はもとより、つながっている人たちに「要求し行動する」ほかの組織にない年金者組合の魅力を伝えて仲間を増やすことにしています。

学習会で学ぶ女性組合員

国会でも国民主権の立場で運動を後押ししている野党が躍進し、審査会だけでなく、公の場での論争が期待できる今こそ「不服審査請求」の数を積み上げていきたいと思います。

（峰野康子）

全員が対象者」のかつてない規模の行動提起に前向きの議論がされています。

女性部の願いは、高齢社会の多数派である女性たちが安心して暮らせる

戦争について語りあう
大分・別府支部女性部

8月22日午前10時～12時まで中部地区公民館で開いた「終戦68年目について語り合いましょう」に、28人の組合員が参加しました。

白石昇さん（87歳）に軍隊での経験を話して戴きました。

―10月に予科練入隊し、飛行操縦専修練生として台湾の海軍航空隊に入隊した。樫の木の棒がムチでたいへん辛かった。その後20年2月に福島県郡山海軍航空隊へ転属、終戦となった―

白石さんは「戦争体験を次世代に語り継ぎ、平和活動を続けていきたい」と話されました。

ソ連に抑留された組合員、中学生・女学生・小学生だった人、終戦日に誕生した人など、いろいろな経験・思いが次々と出され、15人が発言。

たいへん有意義な集会だったと参加者の感想でした。やはり皆さんが共通して心配しているのは、憲法9条をめぐる動きです。戦争体験者として若者にどう伝え、運動を拡げていくかです。

（森アツコ）

「わたしの8月15日」
満蒙開拓従事組合員の体験談

組合仲間の越えてきた人生を聞き学びました

山梨・北杜支部小淵沢班の平和学習会

山梨県北杜支部小淵沢班は、昨年から平和学習会「わたしの8月15日」を実施しています。昨年の第1回は、満蒙開拓から八路軍に留用された経験を話されたIさん、国民党政府と行動を共にされたNさんの話を聞きました。

第2回の今年は長野県下伊那郡阿智町に今年4月にオープンした「満蒙開拓平和記念館」を8月21日に17人の参加で見学し、学習を深めました。

今回はIさんとともに八路軍に留用された阿南町の熊谷秋穂さんを招いて話を聞きました。

また、現地の年金者組合飯伊支部7人の皆さんと交流を深めました。飯伊支部のIさんは「満蒙開拓の歴史を語りつぐ会」での聞き取り調査の報告もしてもらいました。山梨からも「山梨県の満蒙開拓」を報告しました。

活動交流の中で「北杜市の浅川兄弟資料館を訪ねたい」との希望も出され、次回は北杜市での交流を約して終わりました。

山梨の一行は、昼神温泉に泊まり、翌日は南木曽町の木地屋や妻籠・馬籠の宿場を見学しました。（吉柳俊孝）

新風熱風
なんきんこーしこ

「他人事」から脱皮するささやかな行動へ

要介護者の暮らしを考える会　代表世話人　櫻井　和代

過酷な夏であった。連日続く高温多湿の猛暑による熱中症、さらにゲリラ豪雨による被害が相次いだ。先日、NHKの記者から「高齢者が熱中症で亡くなられる原因には何が考えられるか」と問い合わせがあった。孤立や貧困、現在の高齢者が置かれている状況など話したが、もう一つ「他人事」ということが浮かんだ。

自分を取り巻く現実それが、帰宅して、閉め切った室内が38℃にも上昇しているのを目の当たりにして、初めて「これは」と合点した。

同じことは、介護保険法でも同じである。一般に法制度は複雑で、多くの人々にとって「他人事」であり、それらが直接自分に結びつくものとは実感できにくい。また、「見直し」という言葉に、「良くなる」ことと錯覚も起こしやすい。

政府は、社会保障制度国民会議の報告書を受け、軽度者の市町村移行、一定所得のある利用者（夫婦世帯年金300万円以上？）の負担引き上げなどの介護保険改革スケジュールを打ち出した。現役並み所得という言葉が繰り返されていたが、それがこのような数字とは！　介護保険は詐欺保険かと叫びたくもなる。

法律が一つ変わることで、お金の流れが変わり、自分の身にも及んでくる。物事の真実を見極めることに思考停止の状態ではいられない。幸いに現役時代より時間はある。報道の解説に頼らずに、自分の目と耳で確かめていくことも大事と、社会保障審議会の各分科会の傍聴も行うことにした。

他人事から脱皮するための自分にできるささやかな行動である。

来年1月前進座の京都南座公演

前進座京都南座観劇会のご案内

観劇日　2014年1月7日（火）15時30分開場・16時開演
会場　京都四条・南座
演目　一本刀土俵入り
松竹梅湯島掛額
実施主体　年金者組合愛知・岐阜・富山以西の府県本部による実行委員会

群馬・前橋支部南分会
誕生会は大好評で2年目に
要望実現して短歌会発足へ

会場のスナックのママの協力もあって好評の誕生会。

群馬・前橋支部南分会は、昨年9月から3カ月ごとに開いてきた誕生会が7月22日で1年経過しました。

自宅でなんか誕生会など開いてもらえないと、大変喜ばれ、会場のママさんの手造りの品が美味と好評でした。

役員会ではもっと早く立ち上げれば良かったと話が出て、2年目はもっと有意義な実行を心掛けていくつもりです。

また短歌の会がほしいの声に応え6月19日に第1回、7月29日に第2回を8、9人で開きました。（宮崎ます江）

テーマのある旅のおすすめ
Peace Green Humanity
エア・カナダで同日ハバナ到着　～成田⇒トロント⇒ハバナ～
いま変わりゆくキューバへ！　革命成功の歴史と現在を訪ねる！
ハバナ～サンティアゴ・デ・クーバ～カマグウェイ～サンタクラーラ
旅行期間　キューバ横断 友好・交流の旅 9日間
2013年10月19日(土)～27日(日)
旅行費用：398,000円（燃油課賃、空港税は含みません）
2013年11月16日(土)～24日(日)予定
12月 7日(土)～15日(日)予定
◆ハバナ老人の家にて革命世代の人民と交流・懇談。
◆自転車タクシーに乗って世界遺産のカマグウェイを散策。
◆幼稚園または保育園を訪問し、教育現場を見学します。
◆日系の有機野菜農場を訪れ、農場を見学し有機野菜を堪能

企画・実施・資料請求　㈱富士国際旅行社　観光庁長官登録旅行業第64号　（社）日本旅行業協会（JATA）正会員
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-11-7宮庄ビル4階　TEL：03-3357-3377　FAX：03-3357-3317

カタチにのこそう、未来にのこそう。
印刷のことならおまかせください
AP あかつき印刷株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 APビル
http://www.aik.co.jp/
TEL 03-3497-0531 FAX 03-3497-0043

みんなのひろば

忘れられない68年前の空襲

三重・伊勢市　澤村　節子

3・11は忘れませんが、私は68年前の空襲の日も忘れたくても忘れられません。広島・長崎、そして戦災の日、忘れたくても忘れられぬ同じ思いの人とかたく結びつきたいと思っています。

お会いしたこともない東北の友、あれから仮設住宅に住んでいる友の幸せを祈るばかりです。

辛いのは私だけではないと思う日々ですが、「年金者しんぶん」に支えられています。

念願の女性部つくることに

愛知・清須市　塩野　陽子64

念願の女性部をつくることになりました。

女性の年金問題をくらしと結びつけて考えながら、心豊かな老後をどのように過ごしていくか、話し合える場にしていきたいと思います。

過日、清須母親大会で憲法をめぐる話をされた講師の方から、「いま一番元気に活動しているのは年金者組合の人たちです」といわれました。

初参加でホールインワン！

山梨・笛吹市　唐沢　福江76

7月18日、初めてグランドゴルフに参加しました。いきなりホールインワンを出し、次回がまちどおしいです。

自転車保険の加入よかった

埼玉・さいたま市　島田　勝行70

このたび自転車保険から妻のケガに対して「傷害保険金」をいただきありがとうございました。

妻は1月下旬、凍った雪道で転倒して打撲・捻挫しました。アルバイトも一時休業し、通院・治療し、現在も完治せずに継続しています。

自転車保険の「家族型」に加入していたので、すぐに担当の支部役員に連絡し手続きしました。

今回のような事故は、いつ起きるかわからないので加入。経済的な負担が軽減になり、ありがたく思っています。

支部役員・共済保険の担当者の親切な対応にも感謝しております。

菓子と抹茶が彩りをそえる

青森・弘前市　佐々木　暢子71

支部の女性部総会を市の藤田庭園内にあるあづま屋で行いました。

午前は介護保険の学習。午後は参加者からの近況報告や今年度の計画とうたなど。あいにくの雨でしたが、おいしい和菓子とお抹茶が彩りをそえた楽しい1日でした。

リバイバルの映画会で交流

新潟市　木村　一枝

支部では2カ月毎にリバイバル映画を上映、みんなで楽しんでいます。上映後の茶話会での感想を出し合うのがまた楽しいです。

新会員が増えるといいのですがまだです。さらに「うたごえ喫茶」も計画しています。

オスプレイの配備許せない

東京・日の出町　折田　ナナ

東京の西の外れにある「横田基地にオスプレイ配備」の新聞記事にびっくりしました。それも「政治的あつれきが少ないから」が理由と聞き、もっとびっくりしました。

沖縄の負担軽減も大切です。沖縄のみなさんと連帯して、オスプレイを日本で飛行させないようにしたいです。そのために、第3日曜日は基地前で座り込みです。

心が洗われて生きる希望が

岐阜・多治見市　宮地　純二60

心にしみ、癒してくれる曲にであいました。新沼謙治さんの「ふるさとは今もかわらず」と岩崎宏美さんの「いのちの理由」です。この曲を聴くと心が洗われ、生きる希望が湧いてきます。

活動も忙しく充実した毎日

和歌山・橋本市　高本　勝次63

3年前に60歳で定年になり、大阪から和歌山県に越してきました。

少ない年金ですが、夫婦で農作業を行いながら、年金者組合をはじめ、地域の平和やくらしを守る運動などに忙しく取り組んでいます。

それでも毎日が充実した日々を送っています。これからも健康第一でがんばっていきたいです。

7人の仲間で富士山に登る

大阪・高槻市　西田　浩三71

7人で、7月28～29日にかけて富士山に富士宮ルートから登りました。7合目から3時間余の歩行予定が6時間余要して、ご来光はガスが濃くて断念しました。

83歳のリーダーと私は浅間奥宮で寿司子と神酒をいただき、みんな笑顔で下山しました。

私の一枚

槍ヶ岳へ

東京・葛飾区　福島　耕治

1989年の冬に登って以来の槍ヶ岳。ガスが渦まき、一瞬をとらえるのが難かしかった。

（東鎌尾根にて）

山梨・甲府市　豊田　鶴子

埼玉・鶴ヶ島市　石田　勇

北から南から

■平和考えた月
北海道・小樽市　遠藤　慶子

平和を考える8月、小樽でも原水禁世界大会に今年も代表を派遣しました。

核兵器廃絶の大きな波をつくりましょう。

■多彩な紙面に
岩手・一関市　斉藤　三郎

「一関年金者ニュース」は、政治課題、絵手紙、ゴルフ、カラオケ、登山、釣りなどの活動が写真入りで紹介。毎月楽しみです。

■知人の名前が
埼玉・所沢市　藤野　桂65

年金者組合の中央本部役員の一覧に知人の名がありました。深い付き合いはありませんが、話上手で、演説もこなすんでしょうね。

■平和賞の値？
長野・中野市　野口　利夫80

「平和行進」はノーベル平和賞に申請していいのでは。平和賞に値すると思います。

■読者が少ない
三重・菰野町　岡村　安子

「年金者しんぶん」は組合員数より少ないのですが、組合員は必ず読者になると決めるわけにはいかないのですか。新婦人の場合は会費に新聞代も含まれています。

■行事で楽しく
滋賀・守山市　芦辺　節子71

最近になって組合の行事に参加する機会が増えてきました。勉強になったり、楽しんだり、これからもよろしくお願いします。

■不安がつのる
広島・福山市　松本　学63

福島原発の事故では、放射性物質で汚染された地下水が海に流出。東電の対処は泥沼に落ち込み、深刻さを増しています。不安がつのるばかりです。

■参加したい訳
徳島・藍住町　林　寿子71

三重県の高齢者大会に2つの理由で参加したい。1つは板垣さんの話を聞きたい。2つは観光になばなの里が入っていることです。

■若い人が参加
熊本・水俣市　溝口　なおみ

平和行進で1日歩きました。今年一番の暑さで、休憩時のかき氷がおいしかったです。若い人の参加が増えているのは嬉しいです。

旅

信仰の山　御岳山
別天地ロックガーデン

東京都 青梅市

ロックガーデン（岩石園）。そう呼ばれるだけのことはある。大きな岩石がごろごろと連なり、縫うように清流が走る。岩を覆う苔が木漏れ日を受けて静かに反射する。ここは平地より5～6度涼しく、鬱蒼とした樹木の間を冷たい風が通り抜ける。滝の前で一息つくと更に清涼感が増す。

東京の西、青梅市に位置する御岳山は標高929㍍。広葉樹林や渓谷の自然に恵まれ、野生動植物が生息。古くからの信仰の山としても名高いが登山初心者向けコースも整えられている。

JR青梅線御嶽駅下車後、バスで麓のケーブルカー乗り場・滝本駅へ。約6分、降りた御岳山駅は、すでに標高831㍍の御岳平。関東平野が見渡せた。そこから創建2000年と言われる武蔵御嶽神社に向かう途中、宿坊や土産店が軒を連ねる御師の集落に出る。御師とは御祈祷師の略。神社に奉仕し、祈祷を行ったり宿を提供する人々のことだという。

集落の中腹にそびえ立つ巨木は国の天然記念物で推定樹齢1000年の神代けやき。瘤状に膨らむ幹を見ていると、人には計り知れない時の流れを感じて胸を打たれた。

神社の入口左手、長尾平から一周約4・3キロのロックガーデンへ入ると、山岳信仰の霊場らしく天狗岩や天狗の腰掛杉など天狗伝説のある岩や木が迎えてくれる。

今、目の前で流れ落ちる落差10㍍、滝壺の深さ1・2㍍の綾広の滝も実は、みそぎの滝。朝夕滝に打たれて修行する人があると聞いた。

秋にはミツデカエデなどさまざまなカエデが色づく。夜空を飛んで山の見回りをするという天狗もその色合いを楽しむのだろうか。（井上ますみ）

御岳ビジターセンター☎0428・78・9363

渓流沿いに一周するロックガーデン

丸木橋や飛び石を渡りながら

ムササビの巣箱。中で寝ている。山には野生動物が多く生息する

詰将棋

（解答10面）

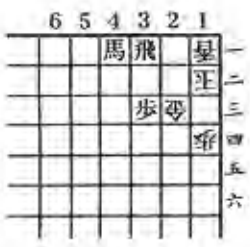
九段　西村一義

初級クラス

「ヒント」金はとどめに残す……。

（10分で2級）

持駒　金桂

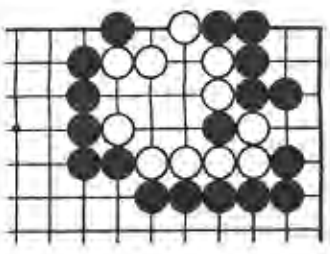


詰碁

九段　石榑郁郎

黒先「ヒント」外側からの攻めは失敗します。

（7分で1、2級以上）



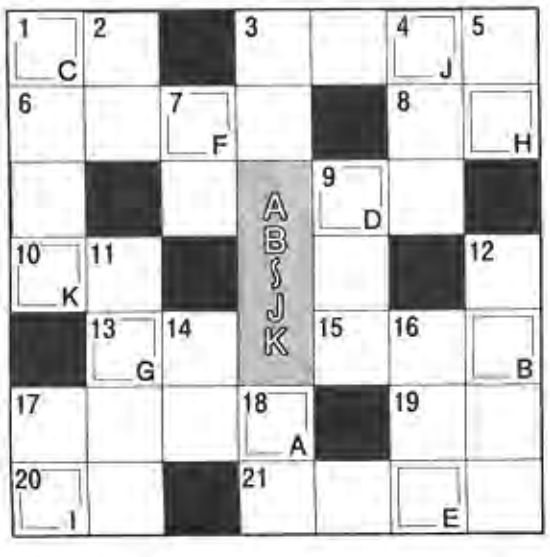
らくらくパズル

〈第286回〉

秋の風物詩の一つ、今年は9月19日です。

カギで二重マスにあてはまる仮名文字をみつけ、AB～JKの順に並べ、ある言葉にして下さい。

（出題＝冒険王）



◎ヨコのカギ

1、あいつは□□の大木だ
3、履き物の一種で、木目の細かい□□□□は高級品とされる
6、1990年代に沖縄で広まり、のち全国でヒットした唄
8、□□入り生地だからキラキラしている
9、家計のやりくりに□□八苦している
10、□□深き人生だったと反省している
13、□□の方舟
15、歌をうたう職業の人。歌い手
17、「恋の□□□□切符」
19、□□不明金の解明を急いでいる
20、♪「出てこい　出てこい　□□の鯉…」
21、□□□□的速やかに

◎タテのカギ

1、瀬川□□□□。島崎藤村の小説「破戒」の主人公
2、♪「…おとうは□□で　わら打ち仕事　お前もがんばれよ…」
3、私は□□国の出身だから暑さには弱い
4、物価は□□□どころか上がっているのに年金削減は許せぬ
5、「世の□□、人の□□」が信条
7、昆虫類がさなぎや幼虫から成虫になること
9、類人猿から人類への□□□□の過程を研究している
11、自分の□□□□はわきまえているつもりです
12、天然痘の予防接種。1976年以降日本では行われていない
14、凶悪事件捜査のため広範囲に□□が張られた
16、「橋頭堡を□□□せよ」
17、□□の国。現山梨県の旧称
18、都市部では□□の上昇が始まった

解答欄

A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	

応募方法

解答　ハガキに書き氏名・住所をお忘れなく。投函前に必ず確かめてください。年齢・支部名もどうぞ。

宛先　〒170－0005東京都豊島区南大塚1－60－20天翔大塚駅前ビル「年金者しんぶん」パズル係。

締め切り　10月20日消印有効

▽正解者の中から抽選で、20人に図書カードを贈ります。

▽ハガキの余白に日ごろの感想、本紙への意見などをお書きください。「みんなのひろば」欄に掲載させていただくことがあります。

第284回パズル解答

応募399人のうち正解は391人でした

〈正解〉アミノメヘイワコウシン（網の目平和行進）

永島　平吉（北海道）
飯田　尚志（北海道）
浅野信太郎（宮　城）
和田　一郎（群　馬）
田嶋　澄江（埼　玉）
石島　和子（東　京）
三枝　和夫（神奈川）
保正　清子（富　山）
植田喜久秀（長　野）
古谷　敏子（愛　知）
佐野　祐平（静　岡）
大久保道夫（滋　賀）
杉山　敏雄（京　都）
平田　悟（大　阪）
草野　郁子（兵　庫）
中山　陽一（和歌山）
内山　尚（山　口）
堀内　英昭（愛　媛）
宮本加寿子（福　岡）
横田　五一（長　崎）

エクリエーション

印象に残る場所の一つ、いなべ市農業公園のボタン

季節の花めぐる

三重・鈴鹿支部　女性部サークル

花めぐる会では、毎回男の運転手さんにお願いしてとても気強いです。今年は津市久居のかさはやの里の梅、桜、藤、アジサイを観に行きました。（林和代）

ガーデンパーティ

茨城・取手支部

8月31日、25人でガーデンパーティ。焼き肉、サンマの炭火焼、ボイルイカの生姜醤油かけ、焼きそば、トウモロコシ、各種野菜のスライス焼き。

酒の席での話題は、①自らの病気の話、②一人暮らしの生活の様子、③家族（夫または妻）への愚痴&自慢話、④秋旅行の検討など穏やかな内容で盛り上がりました。（運沼秀夫）

持ち寄ったさまざまな料理もテーブルを賑わす

七ケ宿を訪ねて

山形・米沢支部

明日から盂蘭盆という12日、七ケ宿へ。

参勤交代の折には、庄内藩、秋田藩と大変な賑わいを見せた宿場町。高畠を過ぎ二井宿峠を越えれば、七ケ宿。今は、国境のトンネルを抜ける。

わらじを祭った道祖神がある。長さは、優に5㍍。七ケ宿には大きなダムもある。湖底に沈められた村々の悲しみも知らずに、湖畔を車が走る。時たま、吹き上げられる噴水は77㍍。まるで息つき。このダムに一億立方の水。見渡す限り水。

材木岩の前に夏でも涼しい氷室がある。外は38度でも中は17度。風穴といって、冷たい風がしみ出てくる。昔は、重要産業の養蚕に使っていた。今でいえば冷蔵庫ってとこ。

村木岩公園ではカモシカの親子が散歩する。涼しい。

大きなわらじが祭られた宿場町の道祖神の前で

年金者文芸

文芸作品募集　ハガキに作品と住所、氏名、年齢を添え、短歌、俳句、川柳宛を明記の上文芸欄まで。個人の応募に限定。毎号25日〆

短歌

うす甘き餡パン喰めば新兵の初外出時娑婆の風吹く
北海道小樽市　棟　徹夫91

木の根掘る汗冷えてゆく夕間暮れ今日は誰かと語り合いしか
秋田県鹿角市　小林　健66

夏椿盛りのときに妹ゆきぬ散りし花びら庭一面に
栃木県那須塩原市　堀越　榮子77

ほの白きみょうがの花は母に似て無言の励まし伝えくれおり
埼玉県朝霞市　渕田　悦子72

南の耳山彦尾根は三十度日傘を差して草原の昼
静岡県富士市　望月　仁81

ダモイとは想いめぐらし読む短歌六十八年敗戦日我
静岡県浜松市　河村不二子

夏木立枝を撓めて鳴り合えば戦没慰霊碑幾百の声
岐阜県土岐市　中島　澈78

将棋指す手をとめ孫と黙祷す平和の誓い耳澄まし聴く
愛媛県今治市　大澤　博明73

平和の火星野村より燃え続く平和の願い世界にとどけと
福岡県北九州市　山内　春子85

高校の同級ならむや歌会で出会いたれどもいまだ尋ねず
鹿児島県南さつま市　祁答院　暄

俳句

虫払ひ懐かし父の蔵書印
北海道小樽市　廣川　博信87

紫陽花の庭通り抜けチラシ入れ
北海道札幌市　政井　邦夫76

戦死者の数ほど咲きし花木槿
福島県郡山市　渡辺　正一76

送り盆別れの言葉短くて
茨城県鹿嶋市　鈴木　隆75

友の骨拾わねばならぬ梅雨間合
千葉県千葉市　田中　武利83

訪いの戸に空蝉のすがり居て
千葉県千葉市　山崎　春樹66

親族の集まりし日の西瓜かな
千葉県千葉市　花澤　賢一54

稲妻や稚の目に満つ好奇心
東京都西東京市　高科　憲勝71

百日紅暑さ棲みつく庭の石
福井県福井市　田邊　一彦83

藪蘭の群れ咲いているひとところ
愛知県名古屋市　土田　静子88

孫帰り一葉の秋となりにけり
三重県紀北町　岩見　雅夫80

三尺寝倅おでこの眼鏡かな
京都府亀岡市　清水　一成76

命賭け今日一日を蝉つぶて
大阪府河内長野市　金森　薫85

送り火の消えし城址の草匂ふ
佐賀県佐賀市　原口　政子83

川柳

地図にないムラで政治が行き詰まる
岩手県盛岡市　小川　一樹64

友あって遠方より来ず電話来る
福島県福島市　諏訪部　明79

仮設から思う故郷遠花火
埼玉県春日部市　福家　駿吉74

涼しさを感じる今は三十度
埼玉県桶川市　星野　紀治73

敬老の日一日だけの甘い声
千葉県船橋市　灘山　徳治86

電卓で三度やったら三通り
東京都東久留米市　佐々木正康74

甲子園終わって庭の草むしり
神奈川県横浜市　毛利やすひこ79

猛暑にて川柳浮かばず昼寝する
三重県松阪市　松井　秀鶯71

見ぬ父を想い描いて終戦忌
和歌山県田辺市　田中　山海72

千の風なる前に今したいこと
広島県広島市　牧野サヨ子82

富士山にオスプレイでは絵にならぬ
佐賀県神埼市　中山　利之86

文芸欄は編集部選。優れた作品とともに多くの方の作品を紹介できるよう配慮しています。

書棚

鉱山（ヤマ）の仲間とともに

上岡　健司　著

1714円＋税　光陽出版社

著者は親子3代古河鉱業の城下町足尾に暮らしてきた。軍国少年～拝金主義、労働運動へと進み、足尾町議会議員としても住民要求の実現に力を尽くす。

「戦前、戦中、戦後の足尾を知っている最後の年代」として本書を昨年出版。

銅山の不当解雇に仲間七人で撤回を求めた裁判闘争のくだりは圧巻。銅山労組委員長を追及し、会社と組合が一体となって活動家の解雇を狙ったことがリアルに描かれている。

（栃木県・足尾支部　斎藤　惇）

注文・問い合わせは上岡宅☎0288・93・2259

プレゼント

この図書を5人の方にプレゼントします。ハガキに図書名記入のうえ書棚欄まで。10月25日締切。

読者プレゼント

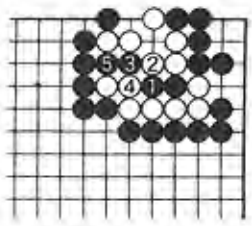
7月号掲載の『虫がいない　鳥がいない』は42人の応募がありました。抽選で次の方に送ります。（敬称略）

小川　昇（埼　玉）
三尾　明男（岐　阜）
垣見トシコ（愛　知）
松尾　忠（奈　良）
川上　俊智（兵　庫）

＊購入希望者は本代（計1500円＋税）郵送料とも負担となります。詳細は編集部まで。

◇囲碁の解答

黒1と動くのが好手。白2に黒3、5で白死です。黒1では5は白3黒1白2で生き。黒3で5も白3で白生きです。



◇将棋の解答

▲2一飛成△同玉▲3一馬△1二玉▲2四桂△同金▲1三金まで7手詰

（解説）

初手▲2四桂は△1三玉で届きません。▲2一飛成から▲3一馬が好手順で、5手目▲2四桂が決め手で△同金に▲1三金でピッタリ。